

2025年11月28日

各 位

株式会社 紀陽銀行

「令和7年度農林水産省地域資源活用価値創出推進事業」 に関する取り組みについて

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、「令和7年度農林水産省地域資源活用価値創出推進事業（以下、本事業）」の一環として、本事業の運営を行う株式会社R i d i l o v e r（代表取締役：安部 敏樹 以下、同社）とともに、官民共創の仕組みを活用して和歌山県内の農山漁村地域が抱える課題解決に取り組んでおります。このたび、同社とともに本事業に関する説明会を開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

説明会当日は、農山漁村地域における課題を抱える和歌山県内の地方公共団体ならびに、課題の解決が期待される事業・サービスを提供する企業の皆様にご参加いただき、参加企業によるソリューション事例の紹介や参加者同士の交流会が行われ、盛況のうちに終了いたしました。

紀陽銀行は、今後も持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 説明会概要

日 時	2025年11月21日（金）13:00～15:00
場 所	Key Site（和歌山県和歌山市黒田185-3） ※対面およびオンライン配信によるハイブリッド開催
参 加 先 数	・農山漁村地域における課題を抱える和歌山県内の地方公共団体：16先 ・課題の解決が期待される事業・サービスを提供する企業：21社
内 容	・農山漁村地域における取り組みに関する本事業の説明 ・和歌山県内における官民共創の取り組み事例 ・参加企業によるソリューション事例紹介 ・対面参加者による交流会
主 催	株式会社R i d i l o v e r
共 催	株式会社紀陽銀行

＜当日の様子＞



2. 本事業の目的

農山漁村地域においては、都市部に先駆けて人口減少や高齢化が進行しており、地域社会の維持が大きな課題となっています。こうした状況に対応するためには、所得の向上、雇用の創出、生活の利便性確保といった取り組みを推進し、農山漁村地域内部の人口を可能な限り維持するとともに、関係人口の拡大を図ることが重要となります。

本事業を通じて、和歌山県内の農山漁村地域が抱える多様な課題に対し、官民共創の仕組みを活用し、農山漁村地域の経済活性化と生活基盤の充実を目指します。

3. 連携企業概要

企 業 名	株式会社R i d i l o v e r
代 表 者	安部 敏樹
所 在 地	東京都文京区本郷3-9-1 井口ビル2階
設 立 日	2013年3月28日
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">・社会課題領域における事業化支援・社会問題に関する調査および政策支援・調査報道（エンゲージドメディア コミュニティ）・教育（スタディツアーア）・企業の人材開発
U R L	https://ridilover.jp/

以 上

本取り組みは、S D G s（持続可能な開発目標）のゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

